

当室の働き方・休み方コンサルタントは、企業訪問をしてフォローアップ調査をおこなっています。

訪問企業のなかで、キラリと光る好事例を紹介します。

(令和 8 年 3 月 2 社追加)

※助成金を活用した好事例は、活用した助成金を記してあります。企業独自で取組まれていた 好事例は、活用助成金欄がありません。

11 連続休暇の取得

| | |
|-----------|---|
| ① 業種 | 介護 福祉 |
| ② 労働者数 | 30～99 人 |
| ③ 地域 | 東信 |
| ④ 取組事例 | 年休の計画的付与による連続休暇制度の導入 |
| ⑤ 具体的内容 | 多くの者が介護職なので連続休暇を取得しづらい状況にあった。そのため連続 3 日間を条件とする計画的付与を労使協定で定め、3 日から 5 日の連続休暇を取得できる制度を導入した。制度倒れにならないように、事前に各自の取得希望時季をもとに管理者が調整し、いつだれがとるかの 1 年間の計画を決定し、月次のシフトは計画的付与时季を前提に管理者が作成することにした。 |
| ⑥ 効果 | 連続休暇を利用して 4 泊 5 日の旅行を楽しむ者も出てきている。 |
| ⑦ 取組のきっかけ | 働き方改革の一環として |

12 小休憩時間の導入

| | |
|-----------|--|
| ① 業種 | 製造業 |
| ② 労働者数 | 29 人以下 |
| ③ 地域 | 南信 |
| ④ 取組事例 | 小休憩時間の導入 |
| ⑤ 具体的内容 | 顕微鏡を使つてのバリ取り工程において、30 分～40 分毎に 1 分間の小休憩（小休憩は労働時間に含まれる）を挿入した。午前中で 5 回程度休憩が取れる。 最初は 14 時頃に小休憩を入れたところ、眠気防止の効果を確認できた。午前中も同様に眠気、私語を防止する為、10 時の 10 分間休憩の他に小休憩挿入を実施した。 |
| ⑥ 効果 | 1 分間の小休憩導入により私語が無くなり、眠気防止にもなり、業務に集中できる環境になった。また、離職率が低くなった事も小休憩導入が影響していると思われる。 |
| ⑦ 取組のきっかけ | 業務に集中し作業効率の向上について検討した |